

平成 28 年 5 月 24 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

**岩手県久慈市と
「災害時の相互応援に関する協定」を締結**

小千谷市は、「安全安心のまちづくり」の更なる推進のため、6 月 13 日に久慈市と「災害時の相互応援に関する協定」を締結します。

この協定は、災害対策基本法に基づき、小千谷市と相手先自治体のいずれかの地域に大規模な災害が発生した場合、被災市の災害応急対策及び災害復旧を円滑に遂行するため、相互応援の体制についての協定を締結するものです。

■協定書の締結

- ◆締結予定日時 6 月 13 日（月）午前 10 時から
- ◆会場 岩手県久慈市（久慈市役所）
住所：岩手県久慈市川崎町 1 番 1 号
（久慈市担当部局：総務部消防防災課 TEL0194-52-2173）
- ◆調印者 遠藤 譲一^{じょうじ} 久慈市長
大塚 昇一 小千谷市長

■応援の種類

- (1)食料、飲料水及び生活必需物資並びにその供給に必要な資機材の提供
- (2)被災者の救出、医療、防疫、施設等の応急復旧等に必要な資機材及び物資の提供
- (3)救援及び救助活動に必要な車両等の提供
- (4)消火、救援、医療、防疫、応急復旧等に必要な職員の派遣
- (5)被災者を一時的に受け入れるための施設の提供及びあっせん
- (6)その他前各号に掲げるもののほか、特に要請のあった事項

■久慈市との関わり

岩手県久慈市（人口：36,443 人 世帯：15,641 世帯 平成 28 年 3 月末現在）

*経緯等：中越大震災時における相手先の人的支援、被災した闘牛の受入れ等の支援、「中越大震災ネットワークおぢや」への加入と活動、東日本大震災時の当市の支援活動及び今後の広域的支援活動への期待など。また、古くから小千谷市の「牛の角突きの習俗」等、闘牛を通じて市民レベルでの人的・物的交流は深い。

■その他

これまで同様の協定としては、平成 16 年に杉並区、平成 24 年に南相馬市並びに日立市、平成 25 年に浦安市と締結しており、今回の久慈市で 5 自治体目となります。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市危機管理課 担当／遠藤

TEL：0258-83-3515 FAX:0258-83-2789 E-mail：bousai@city.ojiya.niigata.jp

平成 28 年 5 月 24 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号**「住家の被害認定調査実地研修会」を開催**

中越大震災ネットワークおぢやでは、平成 20 年度から会員の自治体職員を主な対象として、災害時の「り災証明」に関わる住家の被害認定調査の研修会を行っています。

これは、参加者が中越大震災により被災した建物を利用した被害認定調査を実際に行うことにより、それぞれの自治体で、また被災地への支援の一環として備えるものです。

昨年度までは 1 日で座学から実習まで行っていましたが、平成 28 年度は内容の更なる充実を図るため、2 日間の日程で開催します。

■研修会の概要

- ◆日 時 5 月 26 日（木）午後 1 時 30 分～5 時 30 分
5 月 27 日（金）午前 8 時 30 分～午後 3 時
※今年度は 2 日間の日程で開催します。
- ◆会 場 座学：小千谷市役所 403 会議室
実習：荷頃地内
- ◆内 容 災害時の「り災証明」に関わる住家の被害認定調査の研修会
- ◆講 師 常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡 氏
- ◆参加者 約 20 名
- ◆主 催 中越大震災ネットワークおぢや
- ◆その他
 - ・ 荒天の場合、実地研修の内容を変更することがあります。
 - ・ 10 月 6 日（木）～7 日（金）にも、同内容の研修会を開催します。

■「中越大震災ネットワークおぢや」とは

中越大震災の災害対応現場で得た知恵や教訓を収集・記録、共有して、災害発生時における被災自治体の災害対応業務支援のための情報の提供と経験職員等派遣の調整を行うことを目的として、平成 17 年に設立されたネットワーク組織です。

現在、新潟県内の 14 市町をはじめ、県外では杉並区や浦安市、東日本大震災で被災した南相馬市など 77 の行政組織が参加し、事務局を小千谷市危機管理課と静岡県の常葉大学に置いています。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市危機管理課危機管理・原子力安全対策係 担当／石上・丸山
TEL：0258-83-3515（中越大震災ネットワークおぢや事務局）

平成 28 年 5 月 24 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

**ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形文化財
「小千谷縮製作体験講座」を開催**

平成 21 年 9 月にユネスコの世界無形文化遺産に登録された麻織物「小千谷縮」は、今年 9 月で登録から 7 年を迎え、認知度も高まりつつあります。無形文化財は、製作技術そのものが文化財です。その製作工程を体験して、歴史と伝統の技を学び、技術の保存を考える機会につなげます。

○目 的

ユネスコ世界無形文化遺産に登録された国指定重要無形文化財「小千谷縮」の製作を体験して、その技術を学び、「小千谷縮」の普及活動を行います。

○対 象

小千谷縮の製作体験に興味・意欲のある方で、全講座参加できる方

○講座内容

平成 28 年 7 月 9 日（土）～平成 29 年 2 月 25 日（土）（全 6 回）※詳細は裏面参照

○講座の特徴

この講座は平成 23 年度から開始して、今年で 5 回目となります。

県内、県外からも参加希望があり、参加者のほとんどが 6 回全てに出席するなど、意欲の高さが際立つ講座となっています。

また、参加者の中には、今後も小千谷縮に継続して関わることを希望する方も多く、小千谷縮製作の後継者として活動を始めた方や、研究者の道に進んだ方もいらっしゃいます。

○日程、募集

募集人員：20 人（参加者多数の場合は、未参加の方を優先させていただきます）

参加者負担金：10,000 円（昼食代金等含む）

募集締切：6 月 20 日（月）

実施団体：小千谷縮技術保存会

申込先：小千谷市教育委員会 生涯学習スポーツ課 TEL:0258-83-0077

○日程詳細

回	日 程	内 容	会 場
1	7月9日(土) 13:30~16:30	講話「小千谷縮の歴史と技術」 小千谷縮の歴史をわかりやすく学びます。 織物組合の見学も行います	小千谷市総合産業会館 サンプラザ 小千谷市城内 1-8-25
2	7月23日(土) 7:00~18:30 ※昼食あり	小千谷縮 原材料生産地視察 苧麻(からむし)を栽培している福島県 昭和村を視察して、栽培環境を学びます。	福島県大沼郡昭和村 集合:小千谷市民学習センター (楽集館)
3	7月30日(土) 9:00~16:00	苧麻刈取り・苧引き 小千谷市内の畑で苧麻の刈取りを行い、苧 引きを行います。	小千谷市民学習センター (楽集館) 小千谷市上ノ山 4-4-2
4	9月3日(土) 9:00~16:00	苧績み・糸の手くびり作業体験 青苧の手績み、紺もよの仕組みを作業を 通して体験します。小千谷縮の発明者堀次 郎将俊を祀る明石堂を参拝します。	小千谷市民会館 小千谷市土川 1-3-3
5	10月1日(土)、 2日(日) 8:00~17:00	いざり機による織り 昔ながらのいざり機を使って4時間の織 りを体験します。参加は1日です。 花瓶敷き程度の大きさができあがります。	小千谷市民学習センター (楽集館)
6	2月25日(土) 9:00~15:00 ※昼食あり	雪さらし 雪上での布さらしを体験します。文化財小 千谷縮の製作現場訪問も行います。	小千谷市民学習センター (楽集館)

※小千谷縮の原材料は苧麻(からむし)というイラクサ科の植物です。上杉謙信が生産を奨励したことは広く知られています。小千谷をはじめとした魚沼地方でこの織物が発展したことは必然といえます。

また、上杉氏と苧麻の関わりから、会津、米沢でも生産が盛んになっています。

本件に関するお問合せ先／

小千谷市教育委員会生涯学習スポーツ課生涯学習係 担当/麻績(おみ)・内山

TEL:0258-83-0077 FAX:0258-83-0078 E-mail:syougai@city.ojiya.niigata.jp

平成 28 年 5 月 24 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号**楽集館企画展 松原浩写真展 第 4 回「小千谷の四季～こころに映った風景」開催**

松原浩さんによる小千谷の風景写真展を昨年に引き続き開催します。

松原さんの作品は、HDR（ハイダイナミックレンジ）と呼ばれる技法を駆使して実際の景色の記憶と重なるような写真に仕上げたのが特徴です。越後おぢや農業協同組合のカレンダー写真として 10 年以上採用されており、その美しい写真が人気です。

今回は、各作品の解説文を従来より少し長くするとともに文字も読みやすく大きくしており、写真と文で綴る美しい小千谷の四季がご覧いただけます。

- 期日／6 月 5 日（日）～7 月 18 日（祝） ※水曜日は休館
- 時間／午前 9 時～午後 5 時
- 会場／小千谷市民学習センター「楽集館」小千谷市上ノ山 4-4-2 TEL0258-82-8282
- 入場無料

○松原浩さんによる展示作品スライド上映会（スライド・トーク）**「こころに映った風景」～小千谷の四季に寄せる想い**

作者自らが写真の楽しみ方と、展示作品にこめた想いについてスクリーンに映写しながら解説します。

- 日時／▽6 月 11 日（土）午後 2 時～午後 3 時 30 分
▽6 月 19 日（日）午前 10 時～午前 11 時 30 分、午後 2 時～午後 3 時 30 分
全 3 回 ※いずれも同じ内容です。
- 会場／小千谷市民学習センター「楽集館」3 階ホール
- 講演内容／▽絵を描くように撮る幸せ～想いをとどめる写真の楽しみ
▽作品解説（参加者とのフリートーク、質問コーナーあり）

作者プロフィール**松原 浩（まつばら ひろし）**

1961 年東京生まれ、長岡市在住。長岡技術科学大学勤務。化学が専門の「日曜・写真愛好家」。季節感・いのち・癒し をテーマに「こころに映った風景」の写真表現をめざす。アクアレー長岡にて作品を常設展示。日本自然科学写真協会会員。工学博士

本件に関するお問合せ先／

小千谷市教育委員会生涯学習スポーツ課生涯学習係 担当／長谷川・内山

TEL：0258-83-0077 FAX:0258-83-0078 E-mail：syougai@city.ojiya.niigata.jp

平成 28 年 5 月 24 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

市の魚「錦鯉 P R ピンバッジ」でアピール

平成 28 年度は、小千谷市の魚「錦鯉」をより見えるようにアピールする強化年度と位置付け、小千谷市総合戦略における海外展開・販路拡大を引き続き推進する一方、世界農業遺産への登録などを長岡市と連携し推進しています。

今回、アピール第一弾として、「錦鯉 NISHIKIGOI」バッジを作製しました。このバッジを着けてアピール活動を組織的に進めることで、組織の団結を高め、今後、県、国、世界へ発信していく予定です。

今後、購入希望者への販売を予定しています。

- 頒布個数／500 個
- 着用予定／小千谷市錦鯉漁業協同組合、東山地区振興協議会、小千谷ロータリークラブ、J A 越後おぢや農業協同組合、(一財)小千谷市産業開発センター、市議会議員、市職員ほか
- 作製協力／小千谷ロータリークラブ(写真提供)

本件に関するお問合せ先／小千谷市農林課農政・錦鯉戦略係 担当／山口・大平
TEL : 0258-83-3510 FAX:0258-83-2789 E-mail : nourin@city.ojiya.niigata.jp